

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 芦屋はまゆう

作成日: 令和 元 年 12 月 24 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回、避難訓練を実施しているが、夜間、夜勤者1人で9名の利用者を安全に避難場所に誘導する難しさを実感し、訓練の方法を検討していく。	職員だけで、一人が利用者役になって行う夜間想定訓練を繰り返し行うことで、いざという時に慌てずに短時間で安全に避難誘導出来る体制の確立を目指していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	職員不足と利用者の高齢化、重度化により、以前に比べて外出の機会が減っている。職員の勤務体制の見直しや人員配置の工夫によって、利用者の生きがいに繋がる外出の支援に取り組んでいく。	家族やボランティアの協力を得て、外出や外食等に積極的に取り組み、利用者の気分転換を図っていく。また、希望に応じた、少人数や個別の外出の取り組みを充実させていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。